

刊夕日五十月四



定額一圓五角  
廣告刊五號十二字一圓五角  
日曜祭日の翌日休刊  
發行所 常磐毎日新聞社  
電話 六三〇  
社址 常磐毎日新聞社

### 青年よ志大なれ

平町青年團 N 生

時代の寵児——ゲルウィ  
ンとマルクスは、人類に如  
何なる貢献を興へたか。  
進化論は、人類の進歩を  
單なる生物學的見地より自  
然淘汰説として個人の努力  
も環境も必然に來るべき世  
界に於いて、無力無價値な  
ることを論説した。

唯物史觀は、人間のあら  
ゆる意識作用を、事物が存  
在による規定とし、人間の  
先天的理性を無視すべく教  
へた。

此の二大思想は滔々とし  
て、世界の思想界を風靡し  
た。次の時代への理想を説  
く教育も、人間の至り得る  
最高なる聖への思慕を懐か  
しむる宗教も、哲學も、政  
治も其の基礎を根底から破  
壊され、天上から全くその  
權威を地下へ失墜せしめた  
人々は最早明日への凱歌を  
歌はなくなつた。

そして其處に何が生れた  
か——人間の持つあらゆる  
破廉恥と冒険——それは  
恐しく尖端化され、大衆化  
されて行つた。

曰くエロ化、曰くモダン  
化、曰くナンセンス化と現  
代人は其の獨流に底止する  
所を知らない。

そして其處に何が残され  
たか。無稽なく、極限なき感  
情と欲望とは遂に解決の曙  
光すら發見することは出来  
なかつた。

争ひは争ひを激成し、怨  
みは怨みを倍加した。かく  
て統一調和せらるべき矛盾  
撞著は、矛盾のまゝ、撞著  
のまゝ、放置されて、人々は  
益々焦燥不安なのである。

かく進化論と唯物論から  
得たものは疲勞と絶望とで  
ある。

省みれば、物質文明の限  
りなき追迫に、現代人の内  
的生活は完全に破壊された  
知的生活に靈的生活は支  
配され、光なく、望なく、  
『行進曲』の下に『ジャズ』  
の下に人間は不斷に年老い  
て行く。

此處に進化論と唯物論は  
その貧困性を暴露されねば  
ならなくなつた。明らかに  
人類の文化は、かくの如き  
ものの上に築かるべきでな  
い。

彼等に正に敗亡の思想で  
あり、哲學である、人生は  
彼等に支配されるには餘り  
にも複雑である、人生はし  
かく單純ではない。

誠にベルグソンの創造的

進化論の説く如く環境と努  
力から、鶴は其の長い喙を  
獲得し人間は理想主義に依  
つて、文化的位置を向上し  
得たのだ、夏の虫は燈を戀  
うて、遂に其の身を焼いて  
しまふ、宛もその如へた  
、ひた走りに新思想へのみ  
走るならば、人類は滅亡す  
るより外はない。

(つづく)

### 大塚の 學生靴!!!

耐久新製品

編上靴 六〇〇

半靴 五〇〇

不安心なるキカイ靴よ  
り、安心得る弊店の靴  
を……

大塚支店製靴部

電話七七七番

時計眼鏡  
トキワヤ  
平一・電三三九

### 堂々

斯界の群を抜く  
最高級車プロモス號  
今般増車致しました  
何卒御用命は

電話三九五番へ  
セリザワタクシ

美味  
滋養  
松本の  
洋生菓子  
ヤトモツマ  
香四一二電目丁四平

### 電話番号變更

此度當店の電話番号左記の通り變更  
致しましたから御諒承下さい。

電話 三三七番

平驛前 阿部石炭商(店)

電話 二二七番

阿部政右衛門(宅)

### 外科 X 光線科 性病科 外科

平町田町

安齊外科醫院

電話四七五番

### 魚清食堂部改築御披露

階上新築食堂は皆々様を御待ちしてゐます  
何卒御立寄下さい  
例年の通り



最大魚折詰……二十錢より  
勉強 壽司折詰……二十錢より  
本年の折箱は特に最新式の文化折箱を使用致しま  
す  
多数は特に御相談に應じます

### せ印 魚清食堂折詰部

平町字二丁目  
電話六三三番

平町鍛冶町吉田屋呉服店西隣り

### 歯科

口腔外科 齒槽膿漏科  
治療科 補綴科 齒列  
矯正科

東京齒科醫學士 中村文一

中村齒科醫院

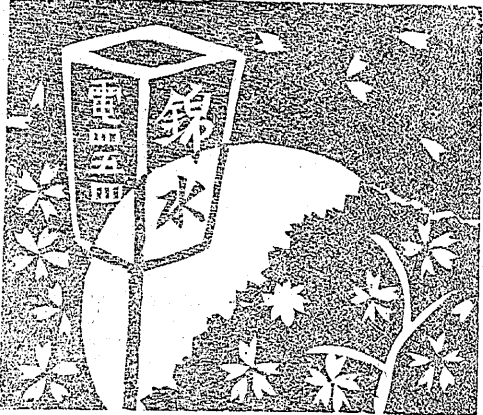
御花見折詰

御重入辨當

割烹仕出し

錦水

電四五四



# 士官學校の演習に

## 兩殿下御來郡

### 堀坂を中心として攻防決戦

### 御假泊所の光榮

陸軍士官學校在校生二百餘名は五月上旬頃教官引卒の許に石城郡湯本町の堀坂を中心とし磐崎、小名濱方面を範圍とする攻防演習を決定する事となり這般同校教官が來郡旅宿其他に就いて調査を爲す處あつたが同演習には同校御在學中ならせらるゝ朝香宮宇彦王殿下並びに李鋼公殿下が在校生の御資格にて御參加あらせられる爲め御假泊所として朝香若宮殿下は小名濱町宇本町酒造業小野ユウ方へまた李鋼公殿下は磐崎村宇湯長屋酒造業大平左司馬方へと決定を見た此光榮を擔ふ兩家ではそれら御居間其他の改築を開始したといふ

盃) 植田下山田浩一 川前菊地壽七 久之濱鯨岡儀助 大野植田銀之助 (賞狀) 赤井草野米彌 木戸高原甚藏 原町鹽谷雄周 平江尻榮次郎 植田下山田浩一 川前佐藤米藏 廣野大越三吉 久之濱鯨岡儀助 双葉大野植田銀之助 田人緑川澄之助 原町齊藤守重 原町折笠宗民 平野本龜吉

上遠野蛭田安平 植田渡邊稻太郎 上小川兼本要之助 入遠野鈴木信太郎 赤井大平吉重 川前菊地壽七 上田三瓶興次郎 石神佐藤喜兵衛 同星愛助 勿來北郷廣作 早川清久 縣技師佐藤正秀 縣技師石泰鎮 技術員井出進元 評議員大竹龜藏 同鈴木盛之助

# 表彰

## 功勞者を

濱三郡木炭同業組合にては昨日聚樂館に開かれた席上にて左記の諸氏を十周年記念組合功勞者として表彰すると

(銀盃) 富岡早川清三 (不口建) 廣野根本勳 勿

# 木炭 受賞者

## 昨日審査の結果

既報濱三郡木炭同業組合主催木炭品評會の審査は昨日四日正午より佐藤本縣技師審査長として嚴選の結果受賞者左記百二十一名と決定した

(一等) 川前薄井政治 木戸松本源三郎(二等) 永戸佐藤政吉 浪江門馬藤太 石神遠藤權 勿來松本庸治 川前松原西治 原町齊藤守重(三等) 木戸鈴木正 浪江大和田勝次郎 前小島万吉 上小川關口建一 廣野根本勳 勿

# 配水池に 水神社

## けふ地鎮祭

平水道部では八幡小路配水池傍らに水神社を祀るため本日午前十時から地鎮祭を執行した

## 佐藤校長 送別會開催

平女子同窓會、同婦人會、女子青年團にては今回轉任となつた佐藤一氏の送別會を明日午後六時より四丁目マルトモホールに於て開くが其の席上に於て記念品を贈呈すると

## 津田校長 十八日着任

平第二小學校校長として榮轉される津田達造氏は来る十八日午後三時五十分着任に赴任すると

## 本縣製氷 組合組織

### 平町で協議

本縣製氷業者は来る廿日午前十一時から平町マルトモホールに於て本縣製氷工業組合の設立發起人會を開催するので縣より伊藤商工課長が臨席すると

## 大野義機寄附

石城郡大野村青年團では義勇機「福島號」の建造資金募集の爲め十六日より全員出動各戸を訪門すると

# 博覽會便り

▽會場内特設郵便局が昨日迄に取扱つた件数は取扱つた件数は電報十九件、普通郵便三百五十件、小包十件、小切手十二件、切手包十二件、切手の上は十六圓五錢未だ閑散の境を脱しな

## 縣下武道指導員 警中へ參集協議

警城中學校に於て来る二十二、二十三の兩日縣下中等學校武道部指導員會を開く

## 警中へ參集協議

### 青木芳朗(二組)渡邊仁作 松本義雄(三組)猪狩中也 根本善一郎(四組)加古信次郎 高階次郎(五組)渡邊四郎 増尾克善

警城中學校に於ける本年度各級正副級長は左の如く本日決定した

## 正副級長 本日決定發表

△第一學年(一組)石田公俊 大坪章(二組)山名光男 橋八郎(三組)成清磐城 額賀弘(四組)鈴木輝男 鈴木洋一郎(五組)志賀長平 北野正明

△第二學年(一組)殿木隆之 太田正三(二組)利根川正徳 石川福太郎(三組)二階堂孝一 中澤登(四組)堀深 佐藤政雄(五組)佐藤忠一 田中英男

△三學年(一組)山崎研治

似顔畫十數点を差し加へ興味を呼んで居る

▽シバタ舞踏劇團フランスバンドの人々は昨日午後五時半から第一會場噴水池畔に特設したマイクロモンを通じて「ゴールデンゲート」其他の曲目を放送し喝采を博した

▽博覽會内の即賣品は何れも廉價で評判が良い殊に天地位出品の博覽會マーク入萬年筆は參觀記念として人氣を博して居る、値段は一圓から三圓迄種々

## 平裁判所便り

△石城郡澤渡村大字中寺字宿四十二番地自動車運轉手早川勝美(男)は去月十七日午前十一時頃平町字道匠小路木村繁彌氏の次女(子)を轢き倒し死に致らしめ業務上過失致死として罰金百圓

## 平職業紹介所報告

△求人 の部  
△女中 廿才前後 尋卒 給料面談(平町某)  
△職工見習 十六才位 高  
△求人 の部  
△雑夫 卅二才 高卒 給料面談(内郷村某)  
△番頭 卅六才 高卒 給

## 平職業紹介所報告

△求人 の部  
△女中 廿才前後 尋卒 給料面談(平町某)  
△職工見習 十六才位 高  
△求人 の部  
△雑夫 卅二才 高卒 給料面談(内郷村某)  
△番頭 卅六才 高卒 給

△求人 の部  
△女中 廿才前後 尋卒 給料面談(平町某)  
△職工見習 十六才位 高  
△求人 の部  
△雑夫 卅二才 高卒 給料面談(内郷村某)  
△番頭 卅六才 高卒 給

# 目さむれば

## タツタ獨り

### 朝鮮人一家の 奇怪な夜逃げ

#### カバンを下げて平署へ

平町材木町十一居住深谷肉店賣子朝鮮人金章路(三)次男平第一小學校尋常四年生金誠(一)は今朝

目を覺した處兩親を

始め兄弟の姿が見當らず家の中は家財道具が一つ残らず持ち去られて空家同様となり枕元に自分のカバンと父親の書置があつたので驚いて平署に泣く泣く事の次第を訴へ出たが父親金章路は妻メトコ(三)との間に長男正昌(三)及び前記次男誠(一)長女キミ子(二)三男正平(三)の四兒を抱へ昨年十二月から前記材

木町に居住し

肉類の行商を営んで

居たものであつて賣れ行き思はしからざる模様であつたから生活に窮し行く先を案じて夜逃げせるものゝ如く書置には「成人の際は東京市深川區猿江裏町十三番地を訪ねて上京せよ」とあり何故に此の誠一人を置き去りしたか疑問とされて居

知合である搔樋小路吉田廣三郎氏が同情し兩親の行衛の剣る迄自分の家で世話をするとて誠を引き取つた

# トラクター式の 陸上機に限る

### 模型機競技の注意

#### 優勝杯争奪

いづみや玩具店主催第三回郡下模型飛行機競技大會は昨報の如く廿四日午前九時から産業博第一會場で開催されるが競技の方法は滞空

タイムの競技でプロペラ一個を有し車輪及び機を付けたトラクター式に依る陸上機に限られて居り競技注意の大要左記の如くである

其内の最高得点を以つて定む

(審査)出發地より着陸し又は眼界を放れたる迄但し樹木家屋電柱等へ五秒以内懸りたるものは障害として直ちにやり直す事を得

(参加資格)何人たるを問はず

(集合時間)参加者は當日午前八時迄に會場へ集合の上機体の鑑査を受け到着番號を受けらるべし

因に賞品には一等より三等迄銀メダル賞状及び副賞、四等五等は銀メダル及び副賞にて以下廿等迄賞品を呈す由

(飛行回数)一機三回とし

## けふの景氣を

### 臺なしにした雨

#### 明日からは晴れるが

#### 永續させぬ天候

候でどうも困つたものでと天に代つての申掛け、イヤヤどうも……

## 少年消防隊の檢閲

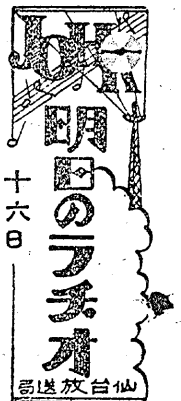
### 伊藤會長より賞讃さる

平第一小學校少年消防隊は本日午前九時より校庭に於て高等科第一學年生百三十一名の人隊式舉行後直ちに會我總裁、坂内副總裁、藤田、丹野、上川、山口四幹事引率の下に全員二百十九名が隊伍を整へラッパ隊を先頭に堂々と警中グラウンドに繰込み檢閲を受けたが

## 平商剣士

### 好間へ出場

平商業學校武道部選手は本日好間村古河炭礦々業所山神祭の爲め開かれる武道大會に出場の爲め武川、麻原



明日のラジオ  
十六日  
報豫氣天  
今晚は北風  
風雨明日は北  
西の風晴れ

## 今晚の部

後六、〇〇 子供の時間  
獨唱とピアノ 獨唱眞作  
照子 ピアノ 眞作佳夫  
同鈴木一三子

後七、三〇 講演「國家の生命と靖國神社祭神」別格官幣社靖國神社宮司加茂百樹

後八、〇〇 東をどり「伊達妻吾風俗」新橋演舞場より中継

## 明日の部

前九、一〇 料理献立「鶏肉のバター焼」松本良雄

前二、〇〇 家庭講座「レントゲン線の醫學應用」村松篤治

## 基督教の特別講演

### 平町材木町バプテスト教會にて

平町材木町バプテスト教會にては廿一、二の兩日東京中央バプテスト教會牧師中島力三郎氏を招き特別講演會を催すが兩日の演題左記の如くである  
廿一日午後七時半「最上の賜物」廿二日午後七時「實生活と基督教」

## 少年消防隊が

### 繩を新調

平第一小學校少年消防隊にては此繩を新調する事となり本日仙臺市に注文した

## 平第一觀櫻會

平第一小學校職員は明日午後三時より松ヶ岡公園に於て觀櫻會を催すと

## 上田科醫院

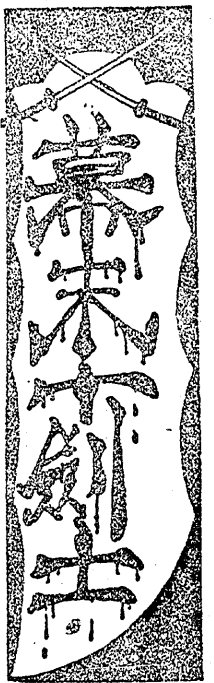
平町 南町  
電話二一九番

## 平商友幹部會

平商友會にては本日午後六時より谷口會長宅に於て本年度總集會開催の件につき幹事商議員會を開くと

## 平映畫界

平 館 日活時代劇澤田清 高津愛子主演「討入以前」松竹現代劇林長二郎 柳さく子主演「投げ節彌之」松竹現代劇鈴木傳明 高田稔 及川道子主演「野に叫ぶもの」上海總攻撃林聯隊決死篇」世界館 東亞現代劇東郷久義主演「鐵腕書生」東亞時代劇維門光三郎 木下双葉主演「天秤棒男一匹」阪妻プロ時代劇阪東妻三郎 鈴木澄子主演「月形半平太」



【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉演  
近藤 紫雲畫

【第廿八席】

神影流の達人秋山要介

引き出す計略

逸見多四郎は門人の怪我をいたし居るを見て多『どうした他流試合をしたか又あの小紅屋の前に當道場の看板があつたが、何であのやうな所に看板があるか』

○『これに就いては申上げることがございます』

多『それはどういふ事か』

△『あなたが外出なさいましたその日の事でありました秋山要介と名乗り試合に参つた者がございます』

多『秋山と申せば川越の松平家に仕へて指南番を勤め其後浪人いたして江戸に参り道場を開き居る神影流の剣道にて今は世の名人で』

○『左様でございますか然し秋山先生にしては誠にその行ひが粗暴でございます逸見先生が居るか尋ねましたから只今不在だと申すとそれでは重ねて参ると其日は旅宿の小紅屋へ引取まして三日ほど續けて出て来ましたが先生がお歸りになりませんから大層立腹して試合を避ける爲に不在と申したものであらう、依つてこの看板は申受けること、心な事を云ひ看板を擔いで行

多『イヤ無法者にせよ、俺は彼の人より怨みを受ける覚えもない、さすれば道理を申さば此事は穩かに済むであらう』

○『道理の判る人物ならば看板などを外しては参りません』

多『兎に角も留つて見よう』

茲で多四郎は門人を伴れて小紅屋に來た、帳場に居た主人の甚次郎兵衛は多四郎を見るところへ飛んで出て

多『さうか、秋山は豫て酒

迷惑をいたします』

多『決闘をするために参つた譯ではない、秋山氏に會うてお話しする事がある、手前の参つた事を取り次ぎくれ』

甚『畏まりましたございませう、わたくしも長い間變つた客を取扱ひました秋山さんのやうな亂暴な客と出會ひましたは今度が初めてでございます、お酒に酔ふて手荒い事を致します、鐵扇を振廻して床柱を叩いたり遠廻を叩きその上三兩二分で買ひました達磨の軸へ小柄を飛ばして目玉に孔を開けて瑾物にいたしました何故そんな事をなさると聞くと退屈だから手裏劍の稽古をするに申しました、まア何にしろあなたの御出になつた事をお知らせ申しませう』

主人は二階へ上つて行く暫くすると梯子を駆け降りて参つたは秋山要介

要『これは逸見先生能うこそお越し下された、先づ拙者の部屋にお通り下さい、コレ主人酒の支度をいたし置け』

そこで多四郎を伴れて部屋に通じ

要『御不在中失禮をいたしました、どうぞ此度の儀は戯れと思召して御容赦下さい』

多『イヤ看板を取つてこれへ引上げたは手前を引き出す方便でござらう』

要『お察しの通り斯様いたせば必ず先生がお出になること、存じて悪戯をいたし

いまし』

多『勘辨いたせと何ぞ貴様は俺に悪い事を致したか』

甚『イエエわたくしは何にもいたしません、秋山とかいふ先生が亂暴な事をいたしましたして嘘も立ちませうが此處へ血を流す様な事になりますとわたくし共が



癖の宜しからざる者とは聞いて居つたが酷罰いたした爲にそのやうな無法な事をいたしましたこと、思ふ、小紅屋に滞在いたし居るとあらば早速出向いて面會いたすであらう、供をいたせ』

○『先方は亂暴者でございますから御用心遊ばせ』

市原醫院  
平町 田町  
電話 一四四番

科病柳花科兒小科内  
院醫沼藤  
町屋紺町平  
番七〇五話電  
應需院入

多『貴殿は軍略家であるナ手前は用事あつて他出したし本日只今戻つて参つたが秋山先生がお訪ね下されたと聞いてそれは珍客と早速お伺ひいたした、どうぞ手前の道場にお越し下さるやう』

「ロクマクの人」  
無用心配  
不治の病とは過去の事です、醫藥を用ひて抄々しくない方靈能偉力を有する「ママシ」を用ひて下さい、但し素人の幼稚なるママシの服用法にては効果ありません、今回研究部員が秘法公開致します、遠慮なく相談にお出下さい、  
◎特に、おすゝめ致し度い方説明書差上ります。  
心臓病の人 胃腸病の人 性力欠乏の人 神  
經衰弱の人 体力の衰へたる人 食慾なき人  
冷性婦人病の人 腎臓病の人  
東京市浅草田島町九一川上蛇類研究所  
平町五丁目二二(金光堂時計店裏)  
代理販賣所 井内

平新川町十九  
木村病院  
電話 一六四番  
産科 院長 木村寅次郎  
婦人科  
内臓外科 醫學士 松永憲一  
整形外科

●小兒下痢一切小兒腸胃散● 堀藥局  
平町二丁目  
電話 三三六番  
貸切の●●●  
御用命は？  
獅子吼(四四九)ノ勢デ  
眞先ニ……(マツサキ)  
三九二クマシーへ!!!